

製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社
 住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F
 電話番号 03-5566-8705 FAX 番号 03-5566-8682
 作成 2002年 5月 7日
 改訂 年 月 日

整理番号：

製品名 **PVP IODINE**

物質の特定 単一製品・混合物の区別
 : 単一製品
 化学名 : ポリ（ビニルピロリドン）ヨード
 含有量 : 100 %
 化学式 : $(C_6H_9NO)_x \cdot x I_2$
 官報公示整理番号：化審法・安衛法
 : (9)-1363
 CAS No. : 25655-41-8
 国連分類及び国連番号：非該当
 P R T R 法：非該当
 安衛法通知対象物質：非該当

危険有害性の分類 分類の名称：分類基準に該当しない
 危険性 : 可燃性の粉体
 有害性 :
 環境影響 :

応急措置

眼に入った場合 : 清浄な水で十分洗い流す。
 コンタクトレンズはすぐ取り外す。
 異常が残るようであれば医師の手当を受ける。

皮膚に触れた場合 : 水及び石鹸で洗い流す。

吸入した場合 : 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にして、異常を感じるようであれば、医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合 : 吐かせてはならない。水又は牛乳を飲ませて薄め、医師の手当を受ける。
 患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火方法：
 (1) 一般火災と同様の消火方法をとる。
 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素、シアン化水素等が発生する恐れがあるので注意を要する。
 (2) 消火作業は風上から行い、消火を行う人は防火服及び呼吸保護具を着用する。

消火剤 : 噴霧水、泡（耐アルコール）、粉末、二酸化炭素

漏出時の措置

- (1) 粉塵が飛散しないようにし、できるかぎり掃き集め、回収する。
- (2) 下水等に入り込まないように注意する。

取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：(1) 発散した粉塵を吸い込まないように、必要に応じ適切な保護具を着用して作業する。作業後は石けんでよく洗浄する。
- (2) 粉塵の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つように努める。
 - (3) 取扱場所では火気、火花、アークを発する物又は高温点火源を使用しない。
 - (4) 粉塵の発生する取扱場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は静電気対策を講じる。
 - (5) 強酸化剤及び還元剤との接触をさける。
- 保管：(1) 容器は密封し、冷暗所に保管し、直射日光は避ける。
- (2) 貯蔵場所では常に整理整頓及び清掃に努め、みだりに不必要な可燃物を放置しないこと。
 - (3) 貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

暴露防止措置

管理濃度： なし

許容濃度： 日本産業衛生学会勧告値 (2001 年版)

時間荷重平均：未設定

粉塵の場合(第3種粉塵)

吸入性粉塵 2 mg/m³

総粉塵 8 mg/m³

ACGIH(2001)勧告値

時間加重平均(TWA)：未設定

粉塵の場合(一般粉塵) TLV-TWA

吸入性粉塵 3 mg/m³

総粉塵 10 mg/m³

設備対策：粉塵の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける。

保護具：保護マスク、保護眼鏡、保護手袋

その他の衛生上の予防措置

- (1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
- (2) 健康診断を定期的実施する。
- (3) 安全衛生教育を実施する。

物理/化学的性質

外観：赤茶褐色の粉末

比重：データなし

沸点：データなし

融点：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気比重：データなし

溶解性：水に易溶

その他：

危険性情報(安定性、反応性)

引火点：不適用

発火点：データなし

爆発範囲：データなし

反応性：一般的な取扱い及び貯蔵においては安定である。
強酸化剤及び強還元剤との接触を避ける。

自己反応性：特になし

